

令和6年度

事業報告書の附属明細書

社会福祉法人川越市社会福祉協議会

令和6年度事業報告書の付属明細書目次

1	社会福祉事業区分・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(1)	法人本部拠点区分	
(2)	地域福祉推進事業拠点区分	
(3)	福祉基金拠点区分	
(4)	共同募金配分金事業拠点区分	
(5)	ボランティアセンター事業拠点区分	
(6)	ファミリー・サポート・センター事業拠点区分	
(7)	通所介護事業拠点区分	
(8)	地域活動支援センター事業拠点区分	
(9)	福祉サービス利用援助事業拠点区分	
(10)	生活福祉資金貸付事業拠点区分	
(11)	小口資金貸付事業拠点区分	
(12)	相談事業拠点区分	
(13)	かわごえ友愛センター事業拠点区分	
(14)	生活管理指導員等派遣事業拠点区分	
(15)	視覚障害者ガイドヘルパー派遣事業拠点区分	
(16)	障害者虐待防止対策支援事業拠点区分	
(17)	コミュニティソーシャルワーカー事業拠点区分	
(18)	介護支援いきいきポイント事業拠点区分	
(19)	生活支援体制整備推進事業拠点区分	
(20)	老人福祉センター西後楽会館事業拠点区分	
(21)	総合福祉センター事業拠点区分	
2	公益事業区分・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	59
(22)	法人後見事業拠点区分	
(23)	成年後見制度推進事業拠点区分	

令和6年度事業報告書

1 社会福祉事業区分

(1) 法人本部拠点区分

① 事業運営体制の強化

ア 役員会等の充実

・ 役員会等の開催

理事会 3 回、評議員会 3 回、評議員選任・解任委員会 1 回及び監査を開催した。

㊦ 理事会

(開催回数 3 回)

開催日	出席者数	議 題 等
6 月 7 日	理事 10 監事 1	【議案】 議案第 1 号 令和 5 年度計算書類等について 議案第 2 号 令和 5 年度事業報告について 議案第 3 号 令和 6 年度第 1 回社会福祉法人川越市社会福祉協議会評議員会の招集について 議案第 4 号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の選任について 議案第 5 号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集及び評議員候補者の提案について 議案第 6 号 令和 6 年度川越市社会福祉大会運営委員会委員の選任について 議案第 7 号 在宅福祉サービスセンター運営委員会委員の選任について
11 月 29 日	理事 13 監事 1	【議案】 議案第 8 号 令和 6 年度資金収支補正予算について 議案第 9 号 令和 6 年度第 2 回社会福祉法人川越市社会福祉協議会評議員会の招集について 議案第 10 号 川越市社会福祉審議会委員の選任について
3 月 5 日	理事 10 監事 1	【議案】 議案第 11 号 令和 6 年度資金収支補正予算について 議案第 12 号 令和 7 年度事業計画について 議案第 13 号 令和 7 年度資金収支予算について 議案第 14 号 役員等賠償責任保険の加入について

		議案第 15 号 令和 6 年度第 3 回評議員会の招集について 議案第 16 号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会 評議員選任・解任委員会の選任について
--	--	---

① 評議員会

(開催回数 3 回)

開催日	出席者数	議 題 等
6 月 25 日	評議員 32 監事 2	【議案】 議案第 1 号 令和 5 年度計算書類等について 議案第 2 号 令和 5 年度事業報告について 議案第 3 号 令和 6 年度川越市社会福祉大会運営委員会委員の選任について 議案第 4 号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会役員の選任について
12 月 18 日	評議員 29	【議案】 議案第 5 号 令和 6 年度資金収支補正予算について
3 月 19 日	評議員 25	【議案】 議案第 6 号 令和 6 年度資金収支補正予算について 議案第 7 号 令和 7 年度事業計画について 議案第 8 号 令和 7 年度資金収支予算について

② 評議員選任・解任委員会

(開催回数 1 回)

開催日	出席者数	議 題 等
6 月 13 日	委員 3	【議案】 議案第 1 号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会 評議員の選任について（選任日から令和 7 年度定時評議員会の終結の時まで）

③ 監事による監査

(開催回数 1 回)

開催日	出席者数	監 査 事 項
5 月 23 日	監事 2	(1) 令和 5 年度業務監査について (2) 令和 5 年度財務監査について

・ 諸規程等の整備

本会の運営基盤の強化や法人ガバナンスの確保、リスク管理体制の強化を図るため諸規程の改正等を行った。

	制定	一部改正
件 数	4 件	34 件

・ 事業継続計画（BCP）の訓練

事業継続計画（BCP）を実効性のあるものとするため、机上訓練を開催した。今回は、「状況予測能力の向上」、「役割行動の確認」を目的としてワークショップ訓練を行った。

開催日：令和 7 年 2 月 25 日(火)

出席者：26 名

イ 第五次川越市地域福祉活動計画の推進

本会ホームページで継続的に活動計画の周知を行った。

また、活動計画の進行管理を行うとともに地区社協の会議等で地区別福祉プランの進行管理を行った。

なお、川越市社会福祉審議会地域福祉専門分科会と併せて本会地域福祉活動推進委員会を開催し、活動計画の進捗状況等を報告した。

開催日：令和 6 年 7 月 17 日(水)、令和 6 年 8 月 6 日(火)

出席者：13 人、17 人

ウ ICT 技術の活用

勤怠管理システム及び給与計算システムを導入し、システムの設定及び運用開始に向けてスケジュール等の調整を行った。

エ 組織体制の整備

課の再編と事務分掌の見直しを行い、事業運営体制の強化を図った。

② 財源の確保

ア 社協会員加入の促進

社協会員募集については、普通会员 1 口 300 円、特別会員 1 口 1,000 円、賛助会員 1 口 5,000 円以上でお願いした。社協会費の使い道などをチラシに掲載するとともに、各地区社協の会議等に参加し説明を行い社協会費加入の促進を図った。

区 分	令和 6 年度		参考（令和 5 年度）	
	加入世帯数等	会費収入(円)	加入世帯数等	会費収入(円)
普 通 会 員	41,381 世帯	13,844,844	38,617 世帯	13,996,430
特 別 会 員	1,397 人	1,478,000	1,390 人	1,499,800
賛 助 会 員	272 件	1,475,400	321 件	1,751,185
合 計		16,798,244		17,247,415

イ 一般寄付金の受入れ

市民の方や事業所、団体等から地域福祉活動への活動資金として寄付金をいただいた。また、新たな寄付の方法などを検討した。

	令和 6 年度	参考（令和 5 年度）
件 数	84 件	66 件
金 額	2,894,399 円	3,159,056 円

ウ 指定寄付金の受入れ

市民の方や事業所、団体等からこども食堂や障害者施設への活動資金として指定寄付金をいただいた。

	令和 6 年度	参考（令和 5 年度）
件 数	33 件	31 件
金 額	1, 196, 969 円	1, 625, 416 円

③ 広報活動の強化

ア 社協だよりの発行

社協だよりを 6 回発行し全戸配布した。

総部数 1, 024, 895 部

号数	発行日	号数	発行日
251 号	6 月 1 日	254 号	12 月 1 日
252 号	8 月 1 日	255 号	2 月 1 日
253 号	10 月 1 日	256 号	4 月 1 日

イ 声の社協だよりの配布

ボランティアグループ「オアシス音訳サークル」の協力により、毎号デジタイズCDを作成し 8 名の利用者に配布した。

ウ 社会福祉協議会ホームページでの情報発信

福祉情報の提供や活動の報告を行っている。また、各課でホームページのお知らせ機能を活用して、周知すべき情報について発信した。

	令和 6 年度	参考（令和 5 年度）
アクセス数	122, 149 件	125, 424 件

エ SNS の活用

地域に関する情報、ボランティアの活動、イベントや助成金に関する情報などは、ホームページ、facebook、X、instagram 等の SNS に投稿し周知した。

また、部署によっては、個別の LINE アカウントを作成し、情報発信した。

オ 川越市社会福祉大会の実施

社会福祉関係者等の長年にわたる活動に対して表彰及び感謝の意を表すとともに、「災害支援のために私たちができること」として、社協、自治会、民生委員、ボランティア、市民、それぞれの立場で何ができるのか、東日本大震災や令和 6 年能登半島地震での実際の体験や事例から、講演を通して私たちにできる災害支援を学んだ。

- ・テーマ：「笑顔で迎え 出会いがつながり 絆が深まるまち 川越」
- ・開催日：令和 6 年 10 月 30 日(水)
- ・会場：川越市やまぶき会館
- ・参加者数：283 人

- ・大会会長表彰 101 人、 7 団体
- ・大会会長感謝 51 人、 12 団体
- ・大会アトラクション（講演）

講 演：「災害支援のために私たちができること」

講演者：一般社団法人 BIGUP 石巻 代表理事 阿部 由紀 氏

④ 職員力の向上

ア 総合的な研修体系の検討

県社協等が開催する研修について、受講の必要性を検討し職員に階層別研修や専門的研修を受講させ、職員の資質向上に努めた。また、内部研修としては、職務を通じた育成（OJT）を中心に行い、個々の職員の自己啓発の支援も行った。

・ 外部研修等

・ 県外研修

名	称	参加者数
国際福祉機器展		1
社会福祉法人会計実務講座		1
首都圏第 1 3 7 期災害救援ボランティア講座		1

・ 県内研修

名	称	参加者数
ボランティア連絡会		1
埼玉県市町村社協連絡会		1
新任職員研修		2
ボランティアセンター新任研修		1
埼玉県こどもの居場所づくりトップセミナー		2
コープみらい団体交流会		1
中堅職員キャリアパス研修		3
社会福祉士実習指導者研修		3
生活福祉資金担当職員連絡会議		2
災害対応力強化研修		2
初任者キャリアパス研修		4
財務分析研修		1
令和 6 年度第 1 回地域包括ケア事例研究会		1
令和 6 年度重層的支援体制整備事業情報交換会		1
ウェスタオレンジカフェ in 寄居 ゆるくつながる会		1
こどもの居場所づくりセミナー		1
会計実務研修		1
市町村社協連絡会研究集会		3

令和 6 年度地域包括ケアシステム実践研修	2
彩の国ボランティア体験プログラム事業担当者会議 及びボランティアコーディネーター現任研修	1
埼玉県ボランティアコーディネーター連絡会 西部第 2 ブロック研修	1
入間第 3 ブロック意見交換会	5
社協力アップ研修	1
令和 6 年度若年性認知症自立支援ネットワーク研修	1
令和 6 年度市町村社協生活福祉資金担当者連絡会	1
地域福祉推進セミナー	2
災害対応力強化研修（マネジメント編）	1
意思決定支援研修	1
福祉教育・ボランティア学習推進員研修	1
あんしんセーフティネット事業研修	2
福祉用具研修	1
管理職キャリアパス研修	1
運転管理者講習	1

・ オンライン研修

名	称
福祉現場に必要な法律の基礎知識（障害者編）	
カスタマーハラスメント研修	
ハラスメント防止研修	
人が辞めない職場づくり研修	
スーパービジョン基礎研修	
社会福祉援助技術・基礎研修	
計算書類等から見る施設の財務分析研修	
B C P 研修	
心理的安全性のあるチームのつくりかた研修	
新任職員フォローアップ研修	
感情マネジメント研修	
社会福祉法人のための決算準備研修	
クレーム対応研修	
人材育成担当者研修	

（※他事業の研修会と一部再掲あり）

・ 情報の共有化

⑦ 職員間の情報の共有化

情報を共有するため、会議の会議録等を開示して共有した。

- ・ 課長会議 22 回/年（原則月 2 回実施）

各課の課題共有や連絡調整、運営方針の決定などの話し合いを行った。
また、社協だよりの年間計画を作成し広報活動の強化に取り組んだ。

・研修参加者の復命

研修等に参加した職員の研修内容をまとめた報告書を、グループウェアで公開した。

① 労務管理機能(衛生委員会、産業医の巡視及び健康相談)の強化

・衛生委員会 12回/年(月1回実施)

毎月定期的に開催し、職場環境の改善や職員の健康維持増進などについて話し合いを行った。

・産業医 毎月1回、職場の巡視及び健康相談を実施した。

⑦ 埼玉縣市町村社協連絡会入間第3ブロック連絡会への参加

・開催日：令和6年12月4日(水)

・会場：所沢市こどもと福祉の未来館

・内容：「CSWの取り組みについて」、「災害発生時のブロック内連携について」の2つをテーマに情報交換を行うとともに、近隣社協間における担当職員同士の交流を図った。

・参加者：5人

⑤ 第60回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会

※次年度へ開催延期

イ 社会福祉関係資格の取得促進

職員の専門性を高めることを目的に福祉資格取得手当に関する要綱を整備し、社会福祉士に合格した職員3名に福祉資格取得手当を支給した。

⑤ 各種事業の実施

ア こども居場所づくりの支援(小江戸こどもサポーターズ)

市内のこどもの居場所づくり活動団体を対象に、日々の活動状況など情報交換を行う交流会を開催した。

また、周知啓発のため「こどもの居場所づくり推進セミナー」を行った。

交流会

・開催日：令和6年9月25日(水)

会場：ウェスタ川越

参加者：15団体

・開催日：令和7年2月21日(金)

会場：ウェスタ川越

参加者：8団体

セミナー

・開催日：令和7年2月21日(金)

会場：ウェスタ川越

参加者：60名

イ 地区社協会長連絡会の開催

各地区社協会長と各地区社協事業の促進に向け情報交換を行った。

開催日	内 容
5 月 15 日	第 1 回 (1) 市社協理事及び評議員の選出について (2) 社会福祉法人川越市社会福祉協議会歳末たすけあい援護金配分委員会委員の選出について (3) 在宅福祉サービスセンター運営委員会の選出について (4) 地区社協の周知活動について (5) 地区社協事業について
8 月 2 日	第 2 回 (1) 地区社協ちらしについて (2) 「支え合い助け合い活動推進フォーラム」の周知 (3) 各地区社協の取り組みについて
3 月 19 日	第 3 回 (1) 令和 7 年度地区社協活動促進事業について (2) 地区社協の周知活動について (3) 令和 7 年度貸切バス借上げについて

ウ 各種団体への助成

- ⑦ 地区社協、市民児連や障害者団体等の各種団体に地域福祉活動を進めるための事業活動費を助成した。

	令和 6 年度	参考（令和 5 年度）
件 数	13 件	13 件
金 額	15,911,330 円	15,850,391 円

- ⑧ 子ども居場所づくり活動団体に継続的な活動を支援するための事業活動費を助成した。

	令和 6 年度
件 数	31 件
金 額	828,521 円

エ 埼玉県共同募金会川越市支会の運営

埼玉県共同募金会川越市支会の事務局業務を行った。

オ 社会を明るくする運動への協力

社会を明るくする運動に協力し啓発活動を行った。

カ 実習生の受入れ

社会福祉士養成のための相談援助実習として、大学生の実習生を受け入れた。

- ・日本社会事業大学 1 人
- ・立正大学 1 人
- ・十文字学園女子大学 1 人
- ・大妻女子大学 1 人

キ 福祉団体事務局

各団体の事務局運営

- ・川越市民生委員児童委員協議会連合会
- ・川越市障害者団体連絡協議会
- ・川越市身体障害者福祉会連合会
- ・川越市老人クラブ連合会
- ・川越市遺族会
- ・川越市在宅介護者友の会
- ・川越市ボランティア連絡会

ク 被災地への職員派遣

埼玉県社協との「災害時相互支援に関する協定書」に基づき、被災地へ職員を 1 人派遣した。

【令和 6 年能登半島地震被害に伴う災害ボランティアセンター運営支援】

派 遣 先：輪島市災害ボランティアセンター

派遣期間：令和 6 年 8 月 18 日(日)～24 日(土)

派遣人数：1 人

ケ 社会福祉法人に対する一般監査の受検

令和 6 年 9 月 4 日(水)、「社会福祉法人の運営状況の確認」として川越市福祉部指導監査課から「社会福祉法人に対する一般監査」を受けた。

監査の結果、法人運営及び法人財務に関する項目で適正に運用されているという評価だった。

(2) 地域福祉推進事業拠点区分

① 戦没者追悼事業の実施

ア 春季戦没者追悼式

令和 6 年 4 月 12 日(金)に開催した春季戦没者追悼式は、会場の都合により規模を縮小し実施した。

イ 秋季戦没者追悼式

・ 本庁管内地区戦没者追悼式

開催日：令和 6 年 12 月 25 日(水)

会 場：ウェスタ川越

参列者：64 人

・ 市民センター管内地区戦没者追悼式

開催日：令和 6 年 9 月～11 月の間

会 場：地区毎に実施

② 在宅高齢者等給食サービス事業の充実

一人暮らし高齢者等の健康の保持、安否の確認や交流を行いながら在宅の生活を支える給食サービス事業を行った地区社協に対し、活動の支援と助成を行った。

・ 実施 16 の地区社協

地区社協	食数	種別	回数	対象者	給食調製方法	助成額（円）
第 1 地区	690	配食	48	30	買上げ (社会福祉施設)	255,300
第 7 地区	366	配食	3	122	買上げ	135,420
第 8 地区	407	会食	11	37	買上げ (社会福祉施設)	150,590
第 9 地区	1,914	配食	12	190	買上げ	708,180
第 10 地区	1,320	配食	24	55	買上げ (社会福祉施設)	488,400
第 11 地区	640	会食	10	64	買上げ (社会福祉施設)	236,800
芳野地区	303	配食	12	25	買上げ (社会福祉施設)	111,000
古谷地区	412	会食	11	30	手作り	122,100
南古谷地区	880	会食 配食	6 12	50 45	手作り 買上げ (社会福祉施設)	310,800
高階地区	2,462	配食	12	295	買上げ	902,800
福原地区	600	配食	12	50	買上げ	222,000

					(社会福祉施設)	
霞ヶ関地区	1,692	会食 配食	12 24	45 48	手作り 買上げ (社会福祉施設)	626,040
霞ヶ関北地区	728	会食	10	70	買上げ	269,360
名細地区	2,592	配食	12	280	買上げ	959,040
山田地区	530	配食	10	60	買上げ	196,100
川鶴地区	265	会食 配食	1 3	40 75	手作り 買上げ (社会福祉施設)	98,050
合 計	15,801			1,611		5,791,980

※食数は、地区社協負担の食数（147食）を含む。

③ プラン事業の促進

・第1地区社協

いもっこ体操教室（宮下自治会館、志多町自治会館、宮元町自治会館、神明町自治会館、神明町団地集会所）

毎月1回実施 参加者：延べ593人

・第2地区社協

いもっこ体操・介護予防教室（石原町公民館、六塚会館、仲町自治会館、幸町自治会館、末広町自治会館）

毎月1～2回実施 参加者：各回90人

・第4地区社協

いきいき体操・絵手紙教室（大手町自治会館、三久保町自治会館、松江一丁目自治会館、元町一丁目自治会館、伊佐沼新町自治会館）

毎月1回実施 参加者：延べ1,000人

・第5地区社協

いもっこ体操（小仙波町自治会集会所、西小仙波町一丁目自治会集会所、西小仙波二丁目自治会館）

毎月2回実施 参加者：各回70人

・第6地区社協

いもっこ体操、介護予防教室、体力測定
（脇田町会館、蔵里、通町会館）

毎月1～2回実施 参加者：延べ759人

・第7地区社協

いもっこ体操、リズム体操等（各自治会館）

毎月1～2回実施 参加者：延べ110人

・第8地区社協

いもっこ体操、講座

(岸町一丁目自治会館、岸町二丁目自治会館、岸町三丁目自治会館)

毎月2回実施 参加者：延べ720人

- ・第9地区社協

いもっこ体操、リズム体操等(旭町1丁目自治会集会所)

毎月4回実施 参加者：延べ450人

- ・第10地区社協(各自治会館)

友愛訪問事業のサポートとして見守り活動等を実施

参加者：延べ100人

- ・第11地区社協

いもっこ体操、健康イベント(各自治会館)

毎月1～2回実施 参加者：延べ2,165人

- ・芳野地区社協

いもっこ体操(北田島自治会センター、谷中自治会館、石田本郷集会所、西門集会所、鴨田中内路自治会館、山田自治会館)

毎月1～2回実施 参加者：延べ1,313人

- ・南古谷地区社協

いきいきサロン(各自治会館)

毎月1回実施 参加者：延べ3,251人

- ・名細地区社協

ふれあいサロン、見守り訪問、いもっこ体操(各自治会館)

参加者：延べ2,482人

(3) 福祉基金拠点区分

基金等効率的な資産の運用

基金積立総額：256,101,150 円

ア 資金運用

理事会で資金運用規程、資金運用方針を定め、国債等で運用した。

令和 6 年度は、令和 6 年 3 月に利付国債（40,000,000 円）が満期を迎えたため、令和 6 年 12 月に政府保証債を新たに購入した。

- ・ 共同発行市場公募地方債189 回(10 年) 40,000,000 円＜H30.12 購入＞継続中
- ・ 利付国債第 174 回（20 年） 98,870,608 円＜R3.2 購入＞ 継続中
- ・ 政保地方公共団体金融機構債券 123 回 50,082,193 円＜R6.12 購入＞ 新規

イ 運用益の活用

- ・ 運用益 494,320 円
- ・ 運用益活用額 0 円
- ・ 前年度助成残金戻入 224,049 円

(4) 共同募金配分金事業拠点区分

埼玉県共同募金会から令和 6 年度配分金として 27,375,000 円（一般募金配分金 8,998,000 円、歳末募金配分金 18,377,000 円（令和 5 年度繰越金含む））の配分を受けた。

① 一般募金配分金事業

ア 川越市社会福祉大会の実施 【再掲】

社会福祉関係者等の長年にわたる活動に対して表彰及び感謝の意を表すとともに、「災害支援のために私たちができること」として、社協、自治会、民生委員、ボランティア、市民、それぞれの立場で何ができるのか、東日本大震災や令和 6 年能登半島地震での実際の体験や事例から、講演を通して私たちにできる災害支援を学んだ。

- ・テーマ：「笑顔で迎え 出会いがつながり 絆が深まるまち 川越」
- ・開催日：令和 6 年 10 月 30 日(水)
- ・会場：川越市やまぶき会館
- ・参加者数：283 人
- ・大会会長表彰 101 人、7 団体
- ・大会会長感謝 51 人、12 団体
- ・大会アトラクション（講演）

講 演：「災害支援のために私たちができること」

講演者：一般社団法人 BIGUP 石巻 代表理事 阿部 由紀 氏

イ 社協だよりの発行 【再掲】

社協だよりを 6 回発行し全戸配布した。

総部数 1,024,895 部

号数	発行日	号数	発行日
251 号	6 月 1 日	254 号	12 月 1 日
252 号	8 月 1 日	255 号	2 月 1 日
253 号	10 月 1 日	256 号	4 月 1 日

ウ 子育てサロンまっりの開催

川越市民生委員児童委員協議会連合会主任児童委員部会と共催で、子育てサロンまっりを開催した。

開催日：令和 6 年 10 月 28 日(月)

会 場：総合福祉センター2 階体育室

参加者：0 歳から保育園及び幼稚園入園前のこども 57 名と保護者 58 名

エ 地区別福祉懇談会の開催及び支援

災害時の対策や一人暮らし高齢者等の支え合い、助け合い活動及び地区別福祉

プランの評価等について話し合いを行うため、福祉懇談会を開催した地区社協に対し、活動の支援と助成を行った。

地 区	開催日	会 場	人数
第 2 地 区	3 月 16 日	六塚会館	42
第 5 地 区	9 月 27 日	小仙波町集会所	42
第 6 地 区	2 月 18 日	脇田町会館	22
第 10 地 区	5 月 11 日	六軒町会館	34
第 11 地 区	2 月 24 日	新宿町 5 丁目自治会集会所	42
芳 野 地 区	2 月 29 日	芳野公民館	26
南 古 谷 地 区	12 月 25 日	東部地域ふれあいセンター	40
高 階 地 区	2 月 22 日	藤原町記念館	23
大 東 地 区	12 月、2 月	大東市民センター（中止）	—
名 細 地 区	2 月 8 日	名細公民館	87
川 鶴 地 区	6 月 11 日	川鶴公民館	48
合 計	10 地区、10 回	10 か所	406

オ 福祉協力員等事業の支援

地域福祉の更なる充実を図るため、地区社協が福祉協力員及びボランティアの発掘・育成を行うとともに、福祉協力員を登録し、日常的な見守り活動と地域福祉支援体制づくりを推進していく活動等を行った地区社協に対し、支援と助成を行った。

- ・福祉協力員数：505 人
- ・実施地区社協

（補助金：1 会場につき 15,000 円、活動事務費として年 5,000 円）

地区社協	開催日	内 容
第 4 地 区	10 月 1 日 3 月 7 日	自分にできるボランティアは何か考える 助け合い活動の必要性について話し合う
第 10 地 区	7 月 28 日 3 月 15 日	「高齢者向けの援助について」 「振り込め詐欺被害防止ワークショップ講座」
第 11 地 区	9 月 25 日 2 月 24 日	研修会、懇談会 研修会
南 古 谷 地 区	6 月 5 日 7 月 3 日 8 月 21 日	福祉協力員の役割と意義について 福祉協力員制度等の現状について 福祉協力員制度の今後の展開について
大 東 地 区	通年	自治会内で見守り活動及び安否確認の推進

名 細 地 区	10 月 5 日 11 月 7 日	家事支援ボランティア研修会 家事支援ボランティア研修会
山 田 地 区	12 月 14 日	「相続についてののはなし」
川 鶴 地 区	9 月 28 日	「聴覚に障害のある講師から、聴覚障害者の日常生活を学び、手話がコミュニケーションツールであることを学ぶ」

カ 地区社協還元金

地区社協活動を推進する事業活動費として、赤い羽根共同募金の実績額に応じた配分金を地区社協に助成した。

	令和 6 年度	参考（令和 5 年度）
金 額	4, 419, 600 円	4, 594, 000 円

キ 一人暮らし高齢者集い事業の促進

温かな人間関係とともに生きるコミュニティづくりを促進するため、一人暮らし高齢者と地区社協、自治会、民生委員児童委員、ボランティア等がふれあう集いを開催した地区社協に対し、活動の支援と助成を行った。

・実施 18 の地区社協（補助金：一人につき 800 円）

地区社協	開催日	参加者 (人)	地区社協	開催日	参加者 (人)
第 2 地 区	11 月 6 日	9	芳 野 地 区	6 月 18 日 11 月 6 日 3 月 4 日	20
第 3 地 区 (野 田 町 一丁目)	5 月 25 日	17	南古谷地区	10 月 29 日	22
第 3 地 区 (野 田 町 二 丁 目)	9 月 18 日	11	高 階 地 区 (寺 尾)	9 月 8 日	25
第 3 地 区 (上野田町)	2 月 5 日	18	高 階 地 区 (五 ツ 又)	9 月 16 日	38
第 4 地 区	10 月 27 日	53	高 階 地 区 (富 士 見)	7 月 30 日	20
第 5 地 区	3 月 5 日 3 月 7 日	60	高 階 地 区 (武 蔵 野)	11 月 30 日	20
第 6 地 区	11 月 12 日	30	高 階 地 区 (稲 荷 町)	12 月 11 日	20
第 7 地 区	9 月 7 日	122	福 原 地 区	2 月 28 日	65
第 8 地 区	2 月 24 日	50	大 東 地 区	10 月 24 日	200

第 9 地 区	10 月 19 日 10 月 31 日 11 月 20 日 2 月 5 日 2 月 20 日	120	霞 ケ 関 北 (霞ケ関北)	3 月 27 日	90
第 10 地 区	11 月 16 日 11 月 17 日 11 月 22 日 11 月 24 日 11 月 25 日 11 月 27 日 11 月 28 日	246	霞 ケ 関 北 (霞ケ関東)	3 月 28 日	21
第 11 地 区	4 月 27 日	83	名 細 地 区	9 月～3 月	120
			川 鶴 地 区	12 月 10 日 3 月 19 日	40

ク 緊急連絡カード事業

近隣における助け合い見守り活動の推進事業のひとつとして、65 歳以上の一人暮らし高齢者を対象とした緊急対応のシステムづくりの普及に努めた。

・実施 22 の地区社協 (単位：人)

地区社協	対象者	地区社協	対象者	地区社協	対象者
第 1 地 区	318	第 2 地 区	87	第 3 地 区	401
第 4 地 区	114	第 5 地 区	211	第 6 地 区	201
第 7 地 区	383	第 8 地 区	82	第 9 地 区	245
第 10 地 区	168	第 11 地 区	187	芳 野 地 区	11
古 谷 地 区	112	南古谷地区	169	高 階 地 区	919
福 原 地 区	375	大 東 地 区	495	霞ケ関地区	335
霞ケ関北地区	367	名 細 地 区	541	合 計	5,935
山 田 地 区	141	川 鶴 地 区	73		

ケ 見守りマップ作成の支援

一人暮らし高齢者や障害のある方等の要援護者を把握する要援護者マップを整備した。

コ 法外援護旅費の補助

内 容	件 数	金額 (円)
補 助	8	4,000

サ 世代間交流事業の促進

地域住民の希薄になりがちな異世代同士の人間関係に対し、互いにふれあうことで理解と思いやりの心を醸成し、住みよい福祉のまちづくりを行うことを目的とした活動に助成し、世代間交流を促進した。

・実施 20 地区社協（補助金：1 地区 50,000 円／年間）

地区社協	開催日	内 容 （ ）は開催場所	参加者(人)
第 1 地区	8 月 8 月 10 月 11 月 12 月 12 月	盆踊り（神明町） 夏の夕べ（宮下一丁目） 宮元まつり（宮元町） バーベキュー（喜多町） 餅つき大会（城下氷川町） 餅つき大会（宮下町二丁目）	延べ 500
第 2 地区	7 月 6 日	七夕まつり （石原町公民館、幸町自治会館、 仲町自治会館、六塚会館）	390
第 3 地区	9 月 22 日 10 月 14 日	3 世代グラウンドゴルフ大会 （泉小学校） 3 世代グラウンドゴルフ大会 （今成小学校 ※中止）	192 —
第 4 地区	11 月 17 日	第 4 地区まつり（川越小学校）	248
第 5 地区	11 月 16 日	体力測定、アトラクション、ワー クショップ等（川越第一中学校）	200
第 6 地区	8 月 18 日	ボッチャ及びカーレット （脇田町会館）	40
第 7 地区	通年	盆踊り、神社清掃など（各自治 会）	1,000
第 8 地区	3 月 18 日	ゲーム大会（岸町 1 丁目自治会 館）※雨天のためグラウンドゴ ルフ大会は中止	50
第 9 地区	7 月 8 月 10 月	ラジオ体操 盆踊り 川越祭り（各自治会館）	100～200
第 10 地区	6 月 16 日	グラウンドゴルフ大会 （月越小学校）	170
第 11 地区	11 月 16 日	地域ふれあいまつり （新宿小学校）	1,700

芳野地区	7月	子ども神輿、盆踊り、観音様、だんご作り、ラジオ体操等（各集会所）	延べ 1,478
	8月	ラジオ体操、盆踊り等（各集会所）	
	10月	ごみゼロ運動、ハロウィン等（各集会所）	
古谷地区	11月4日	グラウンドゴルフ大会 （上江橋運動公園）	340
南古谷地区	7月27日	世代間の親睦・模擬店・盆踊り・ゲーム（並木自治会館）	1,000
	10月13日	世代間の親睦・秋祭り・盆踊り・模擬店（わかば台自治会集会所）	400
高階地区	7月28日、29日	「ザ・夏祭り」（高階南小学校）	3,000 300
	9月8日	武蔵野フェスティバル（青葉台公園）	
大東地区	11月4日	芋掘り大会（南大塚自治会）	510
霞ヶ関北地区	11月10日	会食、アトラクション （霞ヶ関北公民館）	537
名細地区	10月6日	ふれあいスポーツ大会（広谷小学校）	103
山田地区	10月6日	山田地区スポーツフェスティバル（山田小学校）	600
川鶴地区	6月22日	アトラクション（川鶴公民館）	延べ 800
	7月27日	夏まつり（三芳野団地）	
	8月3日	夏まつり（川鶴公民館）	

② 歳末たすけあい配分金事業

ア 歳末たすけあい援護事業の実施

- ・ 歳末たすけあい援護金配分委員会の開催

令和6年7月1日（月）

- ・ 要援護世帯等への慰問事業の実施

在宅の要援護世帯、市内民間福祉施設へ援護金を贈り激励した。

種 別		基準額 （円）	対象者数 （人）	配分額 （円）
要援護世帯	低所得世帯	10,000 +世帯人数加算 +証明書類手数料	112	1,257,500
	重度要介護高齢者	2,000	106	212,000

	重度障害児者	2,000	2,426	4,852,000
市内民間福祉施設		20,000	45 施設	900,000
合 計			2,689	7,221,500

イ 社協だよりの発行 【再掲】

社協だよりを 6 回発行し全戸配布した。

総部数 1,024,895 部

号数	発行日	号数	発行日
251 号	6 月 1 日	254 号	12 月 1 日
252 号	8 月 1 日	255 号	2 月 1 日
253 号	10 月 1 日	256 号	4 月 1 日

ウ 令和 6 年度「笑顔でふれあいフェスティバル（福祉の市）」の開催

例年、高齢の方や障害のある方の製作意欲と生きがいを高め、活動等を周知する機会としてきたが、今年度は「障害者週間の集い」と合同で開催した。本事業を通じて市民の地域福祉に対する意識啓発を図った。

・開催日：令和 6 年 12 月 1 日(日)

会 場：ウェスタ川越（交流広場・多目的ホール・会議室ほか）

エ 在宅介護者リフレッシュ事業の実施支援

在宅介護者の方に心身のリフレッシュ等を図ることを目的とした川越市在宅介護者友の会の事業に対して、実施支援を行った。

・日帰り旅行

開催日：令和 7 年 2 月 13 日(木)

場 所：ガーデンホテル紫雲閣東松山等

参加人数：18 人

・介護研修会やサロンを定期的に実施

オ 在宅障害児招待事業の実施

日頃、外出する機会の少ない障害児及びその家族を対象に、家族間の交流を深めるため芋ほり事業の開催を予定していたが、前日の荒天のため農園側から会場の使用ができないと通知がありと中止となった。参加予定の世帯には当日掘る予定だったさつま芋を配布した。

参加世帯：123 世帯

カ 友愛訪問事業の促進

地域の中で孤立しがちな高齢者や障害者に対して、ボランティアや近隣住民が訪問活動を行うことにより、温かい人間関係を築き、共に生きるコミュニティづくりをするための事業に助成した。

・実施：21 の地区社協

(補助金：1 地区 60,000 円／年間)

地区社協	内 容
第 1 地区	安否確認、健康状態の把握、振り込め詐欺や防災・防犯への注意呼びかけ（月 1 回） 12 月に見舞金の配付
第 2 地区	安否確認、健康状態の把握、振り込め詐欺や防災・防犯への注意呼びかけ等（月 1 回） 10 月、3 月に粗品を配布
第 4 地区	安否確認（月 2 回）、お茶菓子とバースデーカードの配布 1 月に、お茶と手作り絵馬を配布
第 5 地区	安否確認、健康状態の把握、振り込め詐欺や防災・防犯への注意呼びかけ、市や警察等への情報提供（月 1 回） 年 2 回粗品を配付
第 6 地区	安否確認、健康状態の把握、関係機関等への情報提供（月 1 回）
第 7 地区	安否確認、健康状態の把握等（月 1～2 回）
第 8 地区	安否確認（月 1 回） 適宜、情報交換会を実施
第 9 地区	安否確認、生活相談、防災・防犯への注意呼びかけ（月 1 回） 年 2 回おしゃべりサロン実施
第 10 地区	安否確認、健康状態・生活状態の把握、振り込め詐欺や防災・防犯への注意呼びかけ（月 1 回） 年末年始にタオルを配付
第 11 地区	70 歳以上一人暮らし高齢者を対象に訪問し安否確認（月 1 回） 年 1 回啓発品の配付
芳 野 地 区	75 歳以上の高齢者を対象に訪問し安否確認（月 1 回） 12 月に生花を配布
古 谷 地 区	安否確認、健康状態の把握、振り込め詐欺や防災・防犯への注意呼びかけ（月 1 回） 2 月に記念品の配付
南 古 谷 地 区	安否確認、振り込め詐欺や防災・防犯への注意呼びかけ等（月 1 回）
高 階 地 区	安否確認、健康状態の把握、振り込め詐欺や防災・防犯への注意呼びかけ等（月 1 回）
福 原 地 区	65 歳以上の一人暮らし、高齢者夫婦、寝たきり高齢者等を対象に見守り（月 1 回）

大 東 地 区	安否確認、健康状態の把握、生活相談、詐欺や防犯への注意呼びかけ等（月 1 回以上） 6～8 月に塩分チャージタブレットとウェットティッシュを配布
霞ヶ関地区	安否確認、健康状態の把握等（月 1 回）
霞ヶ関北 地 区	70 歳以上一人暮らし高齢者を対象に近況等の確認、詐欺や防犯への注意呼びかけ（月 1 回） 7 月及び 1 月に粗品を配布
名 細 地 区	安否確認、健康状態の把握、振り込め詐欺への注意呼びかけ（月 1 回）
山 田 地 区	安否確認、健康状態の把握等（月 1 回）
川 鶴 地 区	安否確認（月 1 回） 7 月及び 8 月に、水を配布して熱中症予防の呼びかけ 年末年始に、お菓子を配付

キ 親子リフレッシュ事業

明治安田生命保険相互会社主催の「こどもシゴト博 2025in 川越」に参加した。
市内の子ども及び子育て世代を対象に車椅子や高齢者疑似体験セットを使用した介護体験を実施し、親子の絆や地域交流を深めた。

- ・開催日 令和 7 年 1 月 13 日(月)
- ・会 場 ウェスタ川越多目的ホール
- ・参加人数 約 800 人

ク 見舞い激励事業の実施

火災等による被災世帯への見舞い事業の実施

種 別	件 数	金 額（円）	種 別	件 数	金 額（円）
全 焼	7	140,000	水 損	8	80,000
半 焼	6	60,000	死 亡	0	0
半 壊	0	0	合 計	21	280,000

(5) ボランティアセンター事業拠点区分

① 福祉教育の推進

ア 福祉教育指導者との連携

・ 市内小中学校の福祉体験学習への協力

車いすの介助や視覚障害者ガイド、手話、点字等の実技及び福祉講話を通じて、障害者や高齢者への理解を深め、地域福祉の担い手となる次世代へ社会福祉意識の高揚を図った。

〈実施学校数〉

・ 小学校 19 校 ・ 中学校 3 校 ・ 高等学校 0 校

(内訳)

㊦ 福祉体験実技への講師の派遣

・ 小学校 延べ 38 回 参加者 3,274 人

・ 中学校 延べ 4 回 参加者 314 人

・ 高等学校 延べ 0 回 参加者 0 人

㊧ 福祉講話への講師の派遣

・ 小学校 延べ 15 回 参加者 1,216 人

・ 中学校 延べ 1 回 参加者 141 人

・ 高等学校 延べ 0 回 参加者 0 人

・ 認知症サポーター養成講座

認知症高齢者やその家族を支援する者の養成を目的に、市内小中学校と高等学校を対象に認知症に対する正しい知識の普及、啓発を行った。

〈実施学校数〉

・ 小学校 7 校 ・ 中学校 1 校 ・ 高等学校 0 校

(内訳)

・ 小学校 7 校 参加者 528 人

・ 中学校 1 校 参加者 159 人

・ 高等学校 0 校 参加者 0 人

・ ボランティア体験学習への協力

地域や小中学校でのボランティア体験学習へ福祉機器の貸出しを行った。

機器等名称	保有数	件数	機器等名称	保有数	件数
アイマスク	77	4	福祉ビデオDVD	15	1
白杖	25	29	車椅子	17	26
点字器	118	12	ボッチャ	3	9
高齢者疑似体験セット	15	21	福祉図書	1	1
				合 計	103

② ボランティア活動の支援

ア ボランティア養成講座の充実

ボランティア活動を始めるきっかけ作りと地域で活躍できるボランティアを

発掘、育成することを目的として各種講座を開催した。申込方法を従来の往復はがきに加え、電子フォームでも申込みできるようにした。

講座名	開催期間	回数	参加人数	延べ人数
聴覚障害者支援ボランティア養成講座	令和6年9月7日～ 10月26日	8	8	46
点字ボランティア養成講座	令和6年4月23日～ 7月2日	10	7	59
ボランティア入門講座	講義：令和7年3月6日 体験：令和7年3月10日～ 3月28日	1	7	7
		8	9	9

イ ボランティア体験プログラム等の実施

・ ボランティア体験プログラム

学生の福祉への関心を高めることを目的に、施設での体験や自宅での制作活動や地域での交流体験（子ども食堂や環境ボランティア団体）等のボランティア活動を実施した。また、施設からの活動者へのメッセージを社協ホームページに掲載した。

- ・ 期 間：令和6年7月23日～8月29日 38日間
- ・ 対 象：市内在住、在学の小学校4年生以上の学生
- ・ 参加者数：延べ 156人、実人数 118人
参加者延べ数内訳：施設での体験 87人、地域での交流体験 18人
制作活動 47人、寄付活動 4人

- ・ プログラム数：41施設、3団体、54メニュー

・ 「ふ・く・しの街川越」探究プロジェクト2024

学生から見るふだんのくらしのしあわせ

次世代の地域福祉の担い手である高校生以上の学生が川越市内を探究し、自分も含めた暮らしやすい街とは何かを考えてもらい、地域福祉への関心をもち、共生社会を考えるきっかけづくりを目的に実施した。

- ・ 期 間：令和6年10月16日～令和7年2月1日
- ・ 対 象：市内在住、在学の高校生
- ・ 参加者数：延べ 49人、実人数 10人

ウ ボランティアセンター、ボランティアビューローの充実

安心してボランティアができる環境づくり

- ・ ボランティアアドバイザーの配置

名 称	人数	活動日	時間	活動形態	開設日数
ボランティア室	6	火・水・木・金・土	10時	2人制	200日
ビューロー西	4	水・土	～	交代	96日

ビューロー南	5		15 時		96 日
ビューロー保健センター	4	水・金			100 日

※新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、縮小開設となった。

エ ボランティアリーダーの養成

ボランティアアドバイザー定例会

各ボランティアビューローのボランティア情報の共有や相談業務の課題について意見交換を行った。

- ・開催日：毎月最終月曜日

ボランティアアドバイザー研修会

ボランティアアドバイザーとしての考え方や、各ボランティアビューローの作業内容の統一を図るため、現任のボランティアアドバイザーを対象に研修を行った。

- ・開催日：9月30日（全体）、10月17日（ボラ室）、10月23日（ビューロー西）、11月5日（ビューロー南）、11月18日（ビューロー南）、11月22日（ビューロー保健センター）

ボランティアアドバイザー新任研修

新任のボランティアアドバイザーに必要な知識、心構え等を身に着けることを目的とし、研修を行った。

- ・開催日：2月3日
- ・参加人数：3名

オ ボランティア登録の促進

- ・ボランティア相談、登録、調整等の推進
- ・ボランティア登録者

種別	登録数	前年比
グループ（会員数）	178 団体（3,119 人）	+15 団体（+291 人）
個人	349 人	+59 人

- ・活動希望者の相談業務の実施

区分 \ ビューロー	ボランティア室	ビューロー西	ビューロー南	ビューロー保健センター	合 計
活動相談（件）	313	73	65	76	527
派遣相談（件）	1,641	172	432	1,328	3,573
派遣状況（人）	3,397	1,807	1,045	1,131	7,380

- ・各ボランティアビューロー登録ボランティア学習会及び交流会の開催
ボランティアビューロー西（登録ボランティア交流会）
 - ・開催日 令和6年4月26日
 - ・参加者 2人
- ボランティアビューロー南（登録ボランティア研修会）

- ・開催日 令和6年10月25日
- ・参加者 14人
- ボランティア室（登録ボランティア交流会）
- ・開催日 令和6年11月11日
- ・参加者 11人
- ボランティアビューロー保健センター（登録ボランティア交流会）
- ・開催日 令和6年11月28日
- ・参加者 26人
- ボランティアビューロー西（登録ボランティア交流会）
- ・開催日 令和7年1月31日
- ・参加者 22人
- ボランティアビューロー南（登録ボランティアとアドバイザーとの意見交換会）
- ・開催日 令和7年2月14日
- ・参加者 18人
- ・ **施設とボランティアアドバイザーとの意見交換会の開催**
 - ボランティアビューロー保健センター（アンケート調査）
 - ・開催日 令和6年6月6日～令和6年6月30日
 - ・回答数 13施設（回答率33.3%）
 - ボランティアビューロー南
 - ・開催日 令和6年6月14日
 - ・参加施設数 7施設
 - ボランティアビューロー西
 - ・開催日 令和6年10月25日
 - ・参加施設数 4施設
- ・ **その他環境の整備**
 - ⑦ 登録ボランティアグループ活動費の助成
 - ・助成グループ数：26グループ
 - ・助成金額：380,840円
 - ※算出方法（@380円×会員数）＋10,000円／グループ
 - ⑧ ボランティア活動保険の加入促進

ボランティア活動中の事故に備え、保険への加入促進を行った。

 - ・加入者数：3,645人
 - ・事故報告：8件
 - ⑨ ボランティア行事用保険の加入受付

ボランティア団体等の主催の行事中の事故に備えた保険の加入の受付等を行った。

 - ・加入受付：230件
 - ・事故報告：0件

③ 社会貢献活動等の促進

ア ボランティア活動における学校との連携

- ・ 学生のボランティア活動について市内の高校と連携し、ボランティア情報の周知、活動依頼の調整を行った。
 - ・ 学校数 1 校
 - ・ 活動者数 延 61 人
 - ・ 市内学校との協定
- ・ 地域福祉活動に関する包括連携協定

相互に地域社会の持続的な発展のため、学校法人KTC学園おおぞら高等学院川越キャンパスと地域福祉活動や福祉体験学習に関する様々な活動で連携を図った。

イ 企業等からの物品寄付の受付、相談

企業等からの食料品や日用品等の物品寄付の相談、受付、寄付物品の活用先等を調整した。

- ・ 受付件数 58 件

④ 災害に備えた支援

ア 市内団体との協定

災害発生時、災害ボランティアセンターの運営体制等を整え、迅速に復興支援活動に繋げるため、協定先団体を交えて研修を開催した。

イ 災害ボランティア登録制度の促進

- ・ 登録数 個人 29 人 / 4 団体

ウ 近隣市社協との情報交換

ボランティアコーディネーター連絡会ブロック事業において、近隣市町社協で災害発生時における、災害ボランティアセンターの運営や復興に向けた生活支援等での広域連携を図るため、情報交換を行った。

内容	実施日	参加社協
研修	令和7年1月21日	9社協

エ 災害ボランティアセンター運営のための備品等の整備

災害時において円滑に災害ボランティア活動ができるように、備品を整備した。

【スタッフ 50 人及びボランティア 400 人分を想定】

ヘルメット、防じんマスク、ゴーグル、ボランティア用ベスト、トランシーバー、一輪車、ポータブル電源、LED アップライト、ヘッドライト、送風機、ダクトなど 約 4,200 点

オ 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練、講座・研修会の開催

・ 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練及び災害ボランティア研修会

市内において災害が発生した際に、社協が担う災害ボランティアセンターの運営を迅速かつ効果的に行い、被災者支援に繋げるための訓練及び災害ボランティアを体験することで被災者支援が迅速に行えることを目的に開催した。

- ・ 実 施 日：令和7年2月25日(火)
- ・ 会 場：川越市総合福祉センターオアシス 3階 社会適応訓練室
- ・ 対 象：市内協定先・川越市災害ボランティア登録者、市及び社協職員
- ・ 参加者数： 40 名

(6) ファミリー・サポート・センター事業拠点区分

ファミリー・サポート・センター事業の実施

会員相互による育児の援助活動を促進することにより、仕事と育児を両立できる環境の整備を行うとともに、地域における子育て支援を図り、児童及び勤労者等の福祉の増進を図った。

ア 会員加入の促進

- ・入会説明会の実施 随時

イ 援助活動の充実

- ・提供会員講習会の開催 3 回
受講者数：22 人
登録者数：20 人
- ・子育て支援交流会
参加者数：37 名
- ・フォローアップ講習会 2 回
受講者数：17 人
- ・会報誌の発行 1 回（9 月）

ウ 会員の登録状況

会員別	登録者数	前年比
提供会員	443	△9
依頼会員	1114	△23
両方会員	25	△4
合 計	1582	△36

エ 援助活動の状況

会員別	実活動/実利用数	前年比
提供会員（実活動）	109	12
依頼会員（実利用）	161	△23
両方会員（実活動）	0	△3
（実利用）	0	0

- ・派遣回数：5,008 回 派遣時間：4,966 時間 46 分

オ 援助活動内容

援助活動内容	回数
保育所、幼稚園の登園前の預かり	105

保育所、幼稚園の送り	146
保育所、幼稚園の迎え	99
保育所、幼稚園の帰宅後の預かり	377
学童の放課後の預かり	153
放課後児童クラブ終了後の迎え	182
放課後児童クラブ終了後の預かり	248
子どもの習い事等の場合の援助	1, 546
保育所、学校等休み時の援助	85
保育所等施設入所前の援助	1
保護者等の短期間・臨時的就労の場合の援助	196
保護者等の求職活動中の援助	2
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	60
保護者等の買い物等外出の場合の援助	89
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	38
他施設への送り	504
学童の留守宅送り	564
学童の朝の送り	514
在宅保育の援助	99
合 計	5, 008

(7) 通所介護事業拠点区分

① 通所介護事業の実施

介護保険の要介護認定で要介護状態及び要支援状態に認定された高齢者等に対して、その有する能力に応じて自立した日常生活ができるよう、機能訓練、日常生活上の世話、入浴サービス、給食及び送迎等のサービスを提供した。

また、新規利用者に関する家庭訪問及び利用者家族等への生活状況の聞き取りなど利用者の機能回復や利用ニーズの把握に努めた。

さらに、近隣の地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、病院等へ当事業所の取り組み内容など積極的に周知活動を行い利用者の増員に努めた。

ア 利用状況

実利用者数：82 人 延べ利用者数：4,686 人

	介護予防・日常生活 総合事業通所型サービス			通所介護事業					合 計
	事業対象者	要支援		要介護					
		1	2	1	2	3	4	5	
延べ利用者数	252	249	360	1,923	1,036	642	191	33	4,686
新規利用者数	1	4	3	3	2	5	1	2	21

イ 通所介護事業の推進と他事業所との連携及び事業周知の強化

- ・地域包括支援センターケア会議等への参加や介護支援専門員との情報共有 くらづくりの会：6回（5/18、7/20、9/21、11/16、1/18、3/21）
- ・利用者の担当介護支援専門員等との情報共有については、月1回以上介護支援計画等、適宜利用者の状況等について電話やファックスにより情報の共有：利用者82人

ウ 研修会の実施及び参加

介護技術の習得、専門性の確保を目的に外部研修や職員間で研修を行った。

名 称	参加者
地域包括ケア自立支援	1
総合事業オンライン研修	3
虐待防止研修	1
ドライバー適性検査	5
初任者キャリアパス	1
スーパービジョン研修（ZOOM）	1
内部研修（入浴介助について）	14
内部研修（虐待防止）	21
内部研修（介助について）	9
内部研修（運転・リフトについて）	7
内部研修（介護保険リハビリについて）	1

内部研修（リハビリ症例検討）	5
内部研修（個人情報保護）	22
内部研修（感染症予防）	22
法人内職員研修（BCP）	1

エ 障害者と高齢者のデイサービス事業との交流

地域活動支援センターの利用者や世代間を超えた交流の機会を図った。

- ・健康マージャン：延べ 243 人
- ・世代間交流（保育園児とのイベント交流）：延べ 27 人

② 内部検討員会の実施

今後の介護保険事業に対する方向性を検討するための検討会を実施した。

- ・開催日：令和 6 年 7 月 12 日（1 回目）
令和 7 年 2 月 18 日（2 回目）

(8) 地域活動支援センター事業拠点区分

地域活動支援センター事業の実施

日常生活を営む際に支障がある障害者等に対して、機能訓練、社会適応訓練、更生相談、介護方法の指導、創作的活動、入浴サービス、給食及び送迎等のサービスを提供した。

また、新規利用者には、家庭訪問を行い利用者家族等から生活状況の聞き取りを行うとともに、利用者に関する支援について相談支援事業所等の関係機関との情報共有の機会を設け、利用者の機能回復や利用ニーズの把握に努めた。

ア 利用状況

実利用者数：63人、延べ利用者数：3,277人

	1級	2級	3級	4級	6級	知的	精神	医療	合計
延べ利用者数	1,131	926	161	77	81	178	665	58	3,277
新規利用者数	3	1				3	5		12

※身体障害者手帳のほかに重複して手帳を所持している利用者については、身体障害者手帳の等級で集計

イ 事業利用者に関する関係機関との情報共有

障害者相談支援センター、市社協CSWとの利用者の生活課題等の共有の機会として、ケア会議、担当者会議等へ参加 34回

ウ 研修会の実施及び参加

介護技術の習得、専門性の確保を目的に外部研修や職員間で研修を行った。

名 称	参加者
人材育成担当者研修	1
虐待防止研修	1
福祉用具研修	1
初任者キャリアパス研修	1
理学療法学術研修大会	1
福祉機器研修	1
スーパービジョン基礎研修	1
ドライバー適性検査	5
中堅職員キャリアパス研修	1
内部研修（入浴介助について）	8
内部研修（虐待防止）	14
内部研修（介助について）	4
内部研修（運転・リフトについて）	5
内部研修（リハビリ症例検討）	2
内部研修（個人情報保護）	14

内部研修（感染症予防）	14
法人内職員研修（BCP）	1

エ 障害者と高齢者のデイサービス事業との交流

通所介護が行うアクティビティに地域活動支援センター利用者が参加し、交流を図った。

- ・ゲームや音楽鑑賞などレクリエーション等：延べ13人
- ・健康マージャン：延べ93人
- ・世代間交流（保育園児とのイベント交流）：延べ14人

(9) 福祉サービス利用援助事業拠点区分

福祉サービス利用援助事業の実施

県社協から福祉サービス利用援助事業の委託を受け、高齢者、知的障害者、精神障害者等で判断能力が十分でない方へ、福祉サービス利用の手続きや日常生活に必要な金銭管理等の支援を行った。

ア 支援

・問合せ、相談

(単位：件)

対象区分	高齢者	知的障害者	精神障害者	不明その他	合 計
問合せ	36	16	46	9	107
相 談	17	9	44	0	70
合 計	53	25	90	9	177

・延べ契約者数、契約廃止者数、年度末契約者数

(単位：件)

対象者	前年度(継続)	新規	解約	年度末契約数
高齢者等	9	1	1	9
知的障害者	14	3	1	16
精神障害者	20	15	8	27
その他	3	0	2	1
合 計	46	19	12	53

イ 研修

専門員、生活支援員の資質の向上を目的に研修を行った。

・全社協主催 専門員実践力強化研修会

10月29日 専門員活動の実際・事例検討ほか

・県社協主催専門員・生活支援員基礎研修

5月24日 彩の国すこやかプラザ 権利擁護の理解

6月19日 彩の国すこやかプラザ 専門員業務の進め方

・県社協主催生活支援員専門研修

12月17日 彩の国すこやかプラザ 県内の日常生活自立支援事業の取組状況

・県社協主催専門員専門研修会

2月3日 彩の国すこやかプラザ 消費者被害の動向や事例について

・県社協地域権利擁護推進会議（第3ブロック）研修会

6月18日 毛呂山町社協 事例検討及び情報交換

・県社協主催専門員会議

2月3日 彩の国すこやかプラザ 年度末の事務手続きほか

(10) 生活福祉資金貸付事業拠点区分

① 生活福祉資金等の貸付（県社協受託事業）

低所得世帯に対する貸付制度の申請等の事務を行った。

資金種別	決定件数	金額（円）
生活福祉資金（特例貸付除く）	39	19,300,000

② 特例貸付（県社協受託事業）

特例貸付の償還猶予者に対し、生活状況の把握を行った。

資金種別	件数
緊急小口資金	101
総合支援資金	100
合 計	201

(11) 小口資金貸付事業拠点区分

① 小口資金の貸付

低所得世帯等の生活の安定を図るため、次の貸付を行った。

資金種別	件数	金額（円）
福祉資金	0	0
安定資金	528	11,718,000
合 計	528	11,718,000

② 償還、未償還（欠損分を除く）

資金種別	償 還		未償還	
	件数	金額（円）	件数	金額（円）
福祉資金	15	34,000	0	0
安定資金	763	9,648,000	156	3,442,000
合 計	778	9,682,000	156	3,442,000

③ 滞納者に対する督促状発送

資金種別	11 月発送(件)	住所調査（件）
福祉資金	19	3
安定資金	341	43
合 計	360	46

④ 欠損処分の状況

資金種別	件数	金額（円）
福祉資金	0	0
安定資金	30	508,000
合 計	30	508,000

欠損理由：死亡・住所不明による

※参考

・昭和 50 年度から令和 6 年度まで貸付等状況（欠損分を除く）

資金種別	貸 付		未償還	
	件数	金額（円）	件数	金額（円）
福祉資金	1,295	81,683,920	15	663,000
安定資金	9,020	225,419,945	380	8,127,000
合 計	10,315	307,103,865	395	8,790,000

(12) 相談事業拠点区分

心配ごと相談所事業の実施

住民の生活のあらゆる相談に応じ、適切な助言・援助を行うために民生委員相当の経験を有する相談員との連携による心配ごと相談所事業を実施した。

- ・相談日 毎週火曜日（祝日・年末年始を除く）
- ・時 間 午前 10 時～午後 4 時
- ・相談員 3 人

相談内容	件数	相談内容	件数	相談内容	件数
生計	5	健康、保健、衛生	39	障害者（児）福祉	2
年金	2	医療	0	母子福祉・父子福祉	0
職業、生業	23	人権・法律	1	高齢者福祉	7
住宅	6	財産	2	苦情	1
家族	7	事故	0	その他	9
結婚	0	児童福祉・母子保健	0		
離婚	1	教育・青少年	0		
				合計	105

（実相談者数 63 人）

(13) かわごえ友愛センター事業拠点区分

福祉サービスの充実

ア 在宅福祉サービスセンター（かわごえ友愛センター）事業の充実

住民相互の助けあいによる会員制、有償・有料制の家事援助サービスを実施し、在宅で要援護状態にある高齢者や障害者等に対し、協力会員を派遣し、家事援助等の支援を行い、日常生活の向上を図った。

・ 会員加入の促進

会員募集などの情報を全戸配布の「社協だより」、「ホームページ」に掲載した。申込方法を従来の電話に加え、電子フォームでも申込できるようにしている。

・ 協力会員学習会・掃除実習及び定例会の開催

かわごえ友愛センター現任協力会員に対し、学習会、掃除実習及び定例会を開催した。

開催日	内容	参加者数
2月26日(水)	【学 習 会】 自転車交通安全教室 【掃除実習】 掃除の基本、豆知識 【定 例 会】 業務連絡、事故注意喚起等	23

・ 友愛センター会員状況

・ 会員登録状況

会員別	登録者数	前年比
利用会員	408	+24
協力会員	234	+19
賛助会員	33	△3
計	675	+40

・ 派遣状況

項 目	活動状況
実 利 用 人 員 （ 人 ）	181
派 遣 日 数 （ 日 ）	330
派 遣 時 間 （ 時 間 ）	6,665.0
実 派 遣 人 員 （ 人 ）	91
派 遣 回 数 （ 回 ）	4,184

・ 利用状況及び利用者数

利用会員内訳	登録者数	実利用者数
一人暮らしの高齢者	169	64
高齢の夫婦世帯	82	39
高齢者を含む世帯	91	53
認知症	1	0
身体障害児・者	24	8

知的障害児・者	2	1
精神障害児・者	4	3
精神疾患（手帳なし）	8	4
病気・けが等の事由	7	2
ひとり親世帯	4	2
妊産婦・児童	16	5
その他	0	0
合 計	408	181

イ 福祉車両、短期車椅子等貸出事業

・ 福祉車両貸出事業

日常車椅子を使用している方や外出の際に車椅子を必要とする方に社会参加の交通手段として、福祉車両の貸出を行った。

- ・ 車両保有台数：スロープ式軽自動車 1 台（ダイハツタント）
- ・ 貸出件数：55 件

・ 短期車椅子貸出事業

外出時に車椅子を必要とする高齢者や障害児(者)及び福祉団体等に車椅子の貸出を行った。

- ・ 車椅子保有台数：51 台（大人用 47 台、子ども用 4 台）
- ・ 貸出台数：232 台 個人 229 台、団体 3 台

(14) 生活管理指導員等派遣事業拠点区分

生活管理指導員等派遣事業の実施

介護保険の要介護者及び要支援者に該当しない65歳以上の在宅の高齢者に対して、要介護状態への進行予防を図るため、日常生活に対する指導と家事援助等のサービスを提供した。

ア 利用状況

- ・実利用者数：13人 延べ利用者数：415人
- ・サービス提供時間数 延べ415時間
内訳：生活管理指導員 75.5時間 生活援助員 365時間

イ 職員研修

接遇について
プライバシーの保護について
倫理・法令遵守について
高齢者の健康管理について
感染症予防について
フットケアについて
交通安全研修
緊急時の対応について

(15) 視覚障害者ガイドヘルパー派遣事業拠点区分

視覚障害者ガイドヘルパー派遣事業の実施

重度視覚障害者に視覚障害者ガイドヘルパーを派遣し、社会生活を営む上での外出援助を行い、社会活動の拡大を図った。

ア 登録状況

種 別	登録者数	前年比
視覚障害者ガイドヘルパー	39	△3
利用者	62	2
合 計	101	△1

イ 派遣実績

派遣件数：545 件 派遣時間数：1,294 時間

ウ 現任研修会の開催

現任の視覚障害者ガイドヘルパーに対し、研修会を開催した。

開催日	内容	参加者数
3 月 5 日(水)	・ 障害者福祉サービスについて（座学） ・ 情報交換	13

(16) 障害者虐待防止対策支援事業拠点区分

障害者虐待防止対策支援事業の実施

障害者虐待に関する届出の受理、障害者及び養護者に対して、相談及び助言、障害者虐待防止及び養護者に対する支援を行うとともに広報啓発活動を行った。

ア 相談・通報対応件数（実数）

・ 障害者虐待が疑われる通報	32 件
・ 障害者虐待が疑われない通報	25 件
・ その他の通報	9 件
・ 合計通報件数	66 件

イ 障害者虐待防止出張講座の実施

- ・ 研修：1 回、40 人

ウ 障害者虐待防止センター周知啓発の実施

- ・ チラシ配布：4 回、164 人

(17) コミュニティソーシャルワーカー事業拠点区分

コミュニティソーシャルワーカー事業の実施

市からコミュニティソーシャルワーカー配置事業の委託を受け、各地区に1名ずつ職員を配置し、多機関と連携しながら個別支援を行った。

また、重層的支援体制整備事業において、本会ではアウトリーチ等を通じた継続的支援事業と参加支援事業を担い、重層的支援会議で支援者の支援プラン作成や評価に携わるとともに支援を行った。

ア 圏域別件数

圏 域	対応件数	
	個別支援(件)	地域支援(件)
第1、第2、第4、山田	260	243
第5、第6、第7、第8	181	288
第3、第9、第10	54	115
芳野、古谷、南古谷	44	229
高階	473	230
第11、福原	283	402
大東	59	128
霞ヶ関、川鶴	74	133
霞ヶ関北、名細	144	151
その他	84	391
合 計	1,656	2,310

イ 相談室別件数

相談室	対応件数
東部地域ふれあいセンター	10 件
大東市民センター	12 件
西後楽会館	15 件
ジョイフル	2 件
U PLACE	0 件
西文化会館（メルト）	3 件
合 計	42 件

ウ 重層的支援体制整備事業による支援

支援対象者：4名

エ ケアラー・ヤングケアラーの支援

ヤングケアラー支援をお申し出いただいている埼玉縣信用金庫川越支店及

び川越南支店の会議室を会場に、基調講演と当事者の思いに寄り添うグループワークを実施した。

- ・「テーマ 「ヤングケアラー」 その現状と支援について

講師：埼玉県立大学 上原美子教授

ヤングケアラー： 高橋 唯さん

開催日：令和7年1月31日(金)

会 場：埼玉縣信用金庫川越支店川越南支店

参加者：31 人

(18) 介護支援いきいきポイント事業拠点区分

介護支援いきいきポイント事業の実施

川越市内在住の65歳以上の高齢者の方が、自身の介護予防を目的に高齢者介護施設等において利用者への支援活動（ボランティア活動）を実施した場合にポイントを付与し、活動の奨励金若しくは川越市の特産品と交換できる事業を実施した。

ア 対象者向け登録者研修会

(単位：人)

開催日	場所	参加者	登録者	新規保険加入者数
4月～3月	社協窓口	56	54	13
合 計		56	54	13
登録者累計			523	

イ 受入機関

(単位：事業所)

	6年度	累計
新規登録事業所数	6	123
実受入事業所数	33	

ウ 活動内容

(単位：人)

① レクリエーション等の指導、参加支援	967
② 施設の催事に関する手伝い（模擬店、会場設営、利用者の移動補助、芸能披露等）	246
③ 散歩、外出、屋内移動の補助	0
④ 話し相手、傾聴、朗読	479
⑤ お茶出し、食堂内での配膳・下膳等の軽微な業務の補助	339
⑥ 施設職員とともに行う軽微かつ補助的な作業（清掃・草刈の補助、洗濯物の整理等）	1,012
⑦ オレンジカフェに係る傾聴、配膳、レクリエーション指導等の補助	259
合 計	3,302

(19) 生活支援体制整備推進事業拠点区分

地域における支え合いの体制づくりを推進するため、生活支援サービス等の充実及び強化を図った。

① 第1層圏域（市内全域）

第1層生活支援コーディネーターを1名配置した。

ア 地域づくり推進ネットワーク会議の開催

住民主体の福祉活動団体や福祉関係機関、個人ボランティア、行政等を対象に『めぐり逢エールかわごえ』をオンラインとビューイング会場のハイブリッドで3回開催し、繋がりを作るきっかけづくりを行った。

開催日：令和6年6月22日(日)

会 場：オアシス(配信会場)（ビューイング会場）

参加者：91人

開催日：令和6年11月9日(土)

会 場：オアシス(配信会場)（ビューイング会場）

参加者：83人

開催日：令和7年3月19日(日)

会 場：ウェスタ川越

参加者：91人

イ 助け合い活動団体によるネットワーク会議等の開催

市内で助け合い活動を行っている住民主体の団体を対象に、ネットワーク会議を開催して活動状況等の情報交換を実施したほか、移送サービスフォーラムを開催し、市内の移動支援の現状を共有しながら取り組みについて検討する機会を作った。

ネットワーク会議

開催日：令和6年8月29日(木)

会 場：ウェスタ川越

参加団体：15団体・22人

移送サービスフォーラム

開催日：令和6年8月29日(木)

会 場：ウェスタ川越

参加団体：12団体・32人

ウ 地域の公益的な取組推進研修会の開催

市内の社会福祉法人や福祉事業者を対象に、地域の公益的な取組みについて、啓発し、市内でフードドライブ事業を展開している明治安田の仕組みを生かしたフードドライブ事業を展開し、28法人から協力を得た。

エ 第1層協議体の運営支援

第1層及び第2層生活支援コーディネーターの活動報告を行うとともに委員となっている各団体と情報交換を行った。

オ 保健・医療・福祉の連携

コミュニティケアネットワークかわごえ主催の研修会へ参加した。

- ・医療・介護従事者向け「人生会議」研修会

令和7年1月15日(水)

- ・「災害対策」エリアミーティング（3日間）

令和7年1月28日(火)・1月30日(木)・2月4日(火)

カ SC出前講座

令和4年度に作成した助け合い活動の手引きを活用して、生活支援コーディネーターによるたすけあい活動を推進するための出前講座を開始した。

開催日：令和6年9月27日(金)

事業名：第5地区社会福祉協議会福祉懇談会

キ フードドライブの実施

市内で行われたイベント時にフードドライブを実施し、集まった寄付物品等を市内のこども食堂等に配布した。

ク あんしんセーフティネット連絡会

市内で彩の国あんしんセーフティネット事業を担う担当相談員と自立支援機関との連携体制を構築するとともに、生活困窮者支援に必要な知識向上を図ることを目的に連絡会を実施し対応事例を共有するなど関係機関の知識の向上に努めた。

開催日：令和6年12月16日(月)

会 場：オアシス

参加者：4法人・24人

ケ 地域資源マップの作製

生活支援コーディネーターが地域資源調査で把握した自主グループ活動やサロン、オレンジカフェ、助け合いの会、老人クラブなど地域の社会資源を一元化した地域資源マップを作成し、インフォーマルな社会資源の情報提供を行った。

② 第2層圏域（川越市自治会連合会の支会単位）

第2層生活支援コーディネーターを12人配置した。

ア 地区会議への参加等

地域の課題や地域資源を把握するため、各地区で行われる会議等に参加した。また、関係機関と連携しながら、把握した社会資源と要支援者とを繋いだ。

内 容	件数
地区社会福祉協議会会議及び事業等への参加	262 回
各地区民生委員・児童委員協議会定例会等への参加	291 回
各自治会会議等への参加	127 回
サロンへの参加	236 回
自主グループへの参加	269 回
子どもの居場所への参加	167 回
生活支援サービスへの参加	42 回
地域包括支援センター関係の会議等への参加	189 回

イ シニア e スポーツ普及事業の実施

e スポーツを活用した居場所づくりの支援を行った。

市内延べ 59 箇所

ウ スポーツ体験会の実施

多様な年代の交流や場の活性化のきっかけづくりとなるスポーツ体験会を実施し、多世代交流や居場所づくりの支援を行った。

ボッチャ 103 回 モルック 13 回 カーレット 25 回

エ 立上げ支援を行ったサービスや多世代交流の場の支援

実施団体	内 容	地区
サポート 4 t h	家事支援サービス	第 4 地区
ふれあいプチサポート新宿町	家事支援サービス	第 11 地区
名細たすけ愛の会	家事支援サービス	名細地区
ひなたぼっこ	サロン	芳野地区
雀倶楽部稲荷町	サロン	高階地区
麻雀の広場	サロン	南古谷地区
西小仙波町 2 麻雀	サロン	第 5 地区
的上ボッチャ	サロン	霞ヶ関地区
木野目麻雀	サロン	南古谷地区
大仙波健康麻雀	サロン	第 7 地区
こども食堂〇（まる）	こどもの居場所づくり	霞ヶ関地区
あきない食堂	こどもの居場所づくり	南古谷地区

子どもおとな食堂	こどもの居場所づくり	第5地区
お母さんとお父さんの休日子 ども食堂	こどもの居場所づくり	第4地区
toitoitoi こども食堂 地域食堂	こどもの居場所づくり	大東地区
「表現であそぼ！」	こどもの居場所づくり	南古谷地区
gifted	こどもの居場所づくり	山田地区

オ 子ども食堂への支援

市民や企業からの子ども食堂等への寄付について、フードバンク川越が主体となった寄付物品分配のしくみを構築した。

カ 地域福祉活動支援補助金の交付

市内の地域活動団体に対し、補助金を交付した。

78 団体 補助金総額 4,383,752 円

(こどもの居場所づくり団体への補助金 750,000 円、寄付金 78,521 円、一般募金 250,000 円及び歳末助け合い募金 1,755,231 円を含む)

(20) 老人福祉センター西後楽会館事業拠点区分

① 老人福祉センター西後楽会館の管理、運営

指定管理者として指定を受け、次の管理運営業務を行った。

ア 施設の利用状況

開館日数		293 日
利用者総数		35,691 人
内 訳	男 性	19,848 人
	女 性	15,843 人
	個 人	34,086 人
	団 体	(31 団体) 1,605 人
訳	市内（公共施設相互利用及び有料者含）	35,680 人
	市 外	11 人
健康相談（医師・看護師）		838 人
送迎バス		(335 台) 4,917 人
内 訳	老人クラブ等団体	(63 台) 1,197 人
	地区巡回	(295 台) 3,720 人

※公共施設相互利用とは、埼玉県川越市圏まちづくり協議会を構成する川越市、坂戸市、鶴ヶ島市、川島町、毛呂山町、越生町、日高市（日高市は協議会からは脱退したが相互利用に関しては継続）、鳩山町（令和 6 年度から加わった）で、市民と同じように公共施設を利用できるもの。

イ 施設の維持管理

・ 修繕の状況

No	修 繕 箇 所	No	修 繕 箇 所
1	消防設備修繕 （音響装置・消火栓ホース）	4	トイレ（東側トイレ男女 1 台）修繕
2	給水ポンプ応急修繕	5	男女脱衣室電源改修
3	倉庫シャッター修繕	6	薬注装置修繕 （サクシオンバルブ交換）

② 事業及び行事等の実施

ア 指定管理事業

・ 実施事業

相談事業	医師による健康相談	12 回 延べ 120 人
	看護師による健康相談	82 回 延べ 718 人
	心配ごと相談員による生活相談	12 回 延べ 41 人
川越市民の日	施設無料開放 12 月 1 日(日)	

季節行事等	節分豆まき クリスマス会
敬老の日	特別事業
講座の実施	ロコモ体操講座～ヨガ&ストレッチ&貯筋～、わたしの 終活講座、ビーズアクセサリー講座
講話会の実施	交通安全アドバイス及び広報啓発活動
機能回復訓練 事業	ラウンドフィットネス
自主事業	春・夏・冬休み自習室開放

(21) 総合福祉センター事業拠点区分

① 総合福祉センターの管理運営

指定管理者として指定を受け、次の管理運営業務及び自主事業を行った。

ア 施設の利用状況

- ・開館日数：298日（※前年比100%）

- ・利用者総数：67,223人（男35,318人 女31,905人）（※前年比151%）

※今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、消毒・検温器の設置などの取り組みを継続した。新型コロナ5類移行後も継続して防止対策を実施した。

- ・ 高齢者福祉センター事業

- ・利用人数：利用者数：48,627人（男25,701人 女22,926人）

（※前年比157%）

貸 室	人 数	貸 室	人 数
プール	21,323	体育室	7,641
大広間	3,143	浴室	8,188
教養娯楽室	602	第1研修室	2,428
第2研修室	1,874	社会適応訓練室	2,827
調理実習室	225	創作室	376
機能回復訓練室	0		

- ・ 障害者福祉センター事業

- ・利用人数：13,443人（男6,980人 女6,463人）

（※前年比105%）

貸 室	人 数	貸 室	人 数
プール	4,549	体育室	3,663
大広間	805	浴室	1,160
教養娯楽室	282	第1研修室	379
第2研修室	725	社会適応訓練室	1,007
調理実習室	102	創作室	44
おもちゃライブラリー	641	点訳室	86
日常生活訓練室	0	機能回復訓練室	0

- ・ その他の事業

- ・視察：3件（男30人 女74人）（※前年比300%）

- ・相談：368人（男245人 女123人）（※前年比100%）

- 一般利用

- ・プール一般利用

- 利用者数：3,090人（男1,803人 女1,287人）（※前年比232%）

- ・体育室一般利用

- 利用者数：1,591人（男559人 女1,032人）（※前年比456%）

- ・ サークルの活動状況

- ・団体数：59団体（※前年比97%）

- ・活動回数：830回（※前年比102%）
- ・利用人数：延べ9,593人（※前年比106%）
- ・種目：囲碁、将棋、川柳、写真、水墨画、書道、太極拳、健康体操、社交ダンス、卓球、ボッチャ、サウンドテーブルテニス等

イ 施設の維持管理

・ 修繕の状況

No	修 繕 箇 所	No	修 繕 箇 所
1	1階事務所電話機取付修繕	2	3階相談室ブラインド交換修繕
3	厨房スチームコンベクション修繕	4	プールサイド床修繕
5	3階女子トイレ大便器フラッシュ弁修繕	6	ボイラー（NO.2）異常修繕
7	おもちゃライブラリー壁紙修繕	8	水着用脱水機修繕
9	クーリングタワーモータ軸交換修繕	10	おもちゃライブラリーファンコイル修繕
11	3階西便所系統排風機修繕	12	男子風呂用滅菌機薬注ポンプ交換修繕
13	プール親子更衣室電気ヒータ用スイッチ修繕	14	1階女子トイレ温水洗浄便座修繕
15	プール男女障害者トイレ修繕	16	女子浴室窓修繕
17	クーリングタワー薬注装置（2台）修繕	18	浴室（男女）壁掛扇風機交換修繕
19	男女浴室超音波用ポンプ修繕	20	体育室リモコンスイッチ修繕
21	プール機械室冷却塔補給水槽給水管修繕	22	体育室ワイヤレスマイク用充電機修繕
23	社会適応訓練室メインスピーカー修繕	24	男子トイレ小便機自動洗浄システム修繕
25	体育室防球ネット用巾滑車修繕	26	プールロビー照明 器具修繕
27	1階事務所内線電話修繕	28	視覚障害者誘導システム修繕
29	プール赤台V脚交換修繕	30	1階ロビー冷水器修繕
31	ガステーブル修繕	32	プール機械室扉のマグネットセンサー修繕
33	浴槽ろ過機エア抜弁修繕	34	プール採暖室12分計タイマー修繕
35	街路灯ポールタイプLED化（1灯用）修繕	36	街路灯ポールタイプLED化（2灯用）修繕
37	1階エレベーターホール①LED修繕	38	1階エレベーターホール②LED修繕

39	1 階エレベーターホール③LED修繕	40	1 階エントランス①LED修繕
41	1 階エントランス②LED修繕	42	プールロビー①LED修繕
43	プールロビー②LED修繕	44	1 階廊下①LED修繕
45	1 階廊下②LED修繕	46	1 階廊下③LED修繕
47	2 階エレベーターホール①LED修繕	48	2 階エレベーターホール②LED修繕
49	2 階エレベーターホール③LED修繕	50	2 階エレベーターホール④LED修繕
51	2 階廊下①LED修繕	52	2 階廊下②LED修繕
53	2 階廊下③LED修繕	54	3 階図書コーナー・エレベーターホールLED修繕
55	3 階廊下①LED修繕	56	3 階廊下②LED修繕
57	3 階廊下③LED修繕	58	3 階事務所照明器具修繕
59	水着用脱水機修繕	60	1 階身障用トイレ埋込型足踏みボタン修繕
61	正面玄関右側（外部）インターロッキング貼替修繕	62	1 階男子トイレ小便器自動洗浄システム修繕
63	ピクチャーレール受付前取付修繕	64	体育室ロビーLED修繕
65	厨房ガスフライヤー修繕	66	温水ポンプNo. 1 修繕
67	女子浴槽温度制御用温度指示計修繕	68	女子浴槽温度制御用温度指示計調整修繕
69	誘導灯設備①修繕	70	誘導灯設備②修繕
71	3 階点訳室LED修繕	72	玄関横コンセント増設修繕
73	シャッター倉庫開閉器修繕	74	シャッター倉庫電装品修繕
75	事務用PC修繕	76	上水揚水ポンプNo. 1 修繕①
77	上水揚水ポンプNo. 1 修繕②	78	1 階事務所照明器具LED化修繕
79	障害者デイサービス（北側）照明器具LED化修繕	80	障害者デイサービス（南側）照明器具LED化修繕
81	3 階事務所照明器具LED化修繕	82	3 階役員室・印刷室照明器具LED化修繕
83	自動火災報知・防火設備修繕	84	3 階男子トイレハンガードア修繕
85	プールろ過装置修繕	86	体育室雨漏り修繕

② 高齢者福祉センター事業、障害者福祉センター事業の実施

ア 指定管理事業

・ 講座の開催

高齢者及び障害者を対象に各種講座を開催し、52 講座に延べ 6,011 人が

参加した。（※前年比 89%）

・対象者：障害者（身体障害者、知的障害者、精神障害者）

目 的	講 座 名	講座数	延べ 参加者
自立支援	青年学級Ⅰ・Ⅱ、料理体験会	3	217
生きがいづくり	コーラス、さをり織り	2	107
健康の維持増進	水泳、パドル体操、フィットネス等	11	650
重複等するもの	体育室開放	1	52
合 計		17	1,026

・対象者：高齢者及び障害者

目 的	講 座 名	講座数	延べ 参加者
自立支援	書道・篆刻、はじめてのスマホ	2	237
生きがいづくり	写経・椅子坐禅、陶芸・カレー作り オアシス花壇づくり等	7	258
健康の維持増進	アクアビクス、健康マージャン等	25	4,436
重複等するもの	オアシス失語症言語訓練会	1	54
合 計		35	4,985

・中止となった事業

対 象	講 座 名	概要
高齢者及び障害者	健康トレーニング（高・精）	荒天のため8月30日 1回中止。部屋の空 がないため、振替 なし。

・心身障害児（者）緊急一時保護事業（中止）

対象者：保護者又は家族の冠婚葬祭等により、緊急に保護を必要とする心身障害児（者）

※実施要領が完成し次第、再開予定

・おもちゃライブラリー

対象者：就学前の障害児と保護者

利用者数：延べ641人（障害児306人、保護者335人）（※前年比377%）

・相談事業

身体の悩みを抱えているが、病院に行くことを迷っている方や病院では聞きにくいという方などを対象に、医師による健康相談を毎月1回、看護師による健康相談と理学療法士によるリハビリ相談は、随時受付けて行った。

また、生活のあらゆる相談に応じ、適切な助言、援助を行うために民生委員相当の経験を有する相談員との連携による相談を行った。

・医師相談

内容：医師による相談

利用者数：利用者数：延べ52人（男28人 女24人）（※前年比153%）

- ・健康相談

内容：看護師による相談

利用者数：利用者数：延べ281人（男199人 女82人）（※前年比95%）

- ・リハビリ相談

内容：理学療法士によるリハビリに関する相談、運動メニューの紹介

利用者数：利用者数：延べ35人（男17人 女18人）（※前年比97%）

- ・生活相談

内容：生活上の心配ごと相談

利用者数：利用者数：延べ56人（※前年比156%）

イ 自主事業

- ・一般対象向け講座（インターネット講座）の開催

インターネット講座はコロナ禍で始め、開始当初は応募数が1講座につき100人を超えていたが、徐々にアクセス数は減り、令和5年度の最後に作成した講座は応募数が4人であったことを踏まえ、令和6年度は配信を行わなかった。

- ・血圧測定会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止していたが、10月から月に1回、ロビーにて看護師が来館者の血圧測定を行った

- ・利用者数：延べ118人（男62人 女56人）（※前年比なし）

- ・爪切り事業

自身で爪切りが困難な方を対象に、看護師が爪切りをすることで爪のケアなどの指導を行い、利用者サービスの向上を図った

- ・利用者数：延べ259人（男104人 女155人）（※前年比119%）

- ・リハトレパーク

リハビリテーションを行う場がない方を対象に、トレーニング等を行う場を提供することで、健康の維持増進や積極的な社会参加の促進を図った。

- ・利用者数：延べ319人（男311人 女8人）（※前年比83%）

- ・オアシス毎日体操

ラジオ体操をすることで、参加者の体力向上、健康の維持増進を図った。

- ・利用者数：延べ1,958人（男448人 女1,510人）（※前年比167%）

- ・オアシスサロン

気軽に立ち寄れる場所、活動を共にする仲間をつくることで自宅以外の場ができ、引きこもりの予防を図った。

- ・利用者数：延べ494人（男118人 女376人）（※前年比677%）

- ・健康マージャンサロン

「はじめての健康マージャン教室」を受講した方や、一般利用者が継続的に健康マージャンを行える場を作り、心身の健康および社会参加の促進を図った。

- ・利用者数：延べ1,044人（男409人 女635人）（※前年比1,684%）
- ・ **スポーツレクリエーションの集い**
障害のある人もない人も、様々な種類のスポーツレクリエーションをと
して互いの交流を深めるイベントを実施した。
- ・利用者数：延べ74人（男32人 女42人）（※前年比140%）

ウ その他の事業等

- ・ **ボランティアの活動状況**
 - ・ 内容：障害者のスポーツ支援
人員：延べ101人（※前年比202%）
 - ・ 内容：障害者のその他事業支援
人員：延べ51人（※前年度比283%）
 - ・ 内容：大広間支援
人員：延べ253人（※前年度比103%）
- ・ **視察等の受け入れ**
10月31日 「平塚よりきの郷 31名」視察受け入れ
- ・ **協賛事業等**
指定暑熱避難施設「川越ひと涼み処」の受け入れ施設として実施した。
- ・ **事業運営に向けてのスキルアップ研修への参加**
外部研修

名 称	参加者
令和6年度 市町村社協新任職員研修会	1
令和6年度 埼玉県市町村社協連絡会研究集会	2
令和6年度 地域福祉推進セミナー	1
心理的安全性のあるチームのつくり方研修	1
社会福祉実習指導者講習会埼玉県会場	1
令和6年度 ハラスメント防止研修	1

2 公益事業区分

(22) 法人後見事業拠点区分

個人で受任するのが難しく、他に適切な候補者がいないと判断された人の後見人等として、受任した方が安心した生活を送ることができるよう、定期的な訪問で生活状況を確認し、必要なサービス等が受けられるよう支援を行った。

① 法人としての後見等受任

社会福祉法人川越市社会福祉協議会法人後見事業実施要綱に基づき、法人として後見等受任や監督を行った。

・推薦依頼件数

推薦経緯	件 数
市高齢者いきがい課	1
市障害者福祉課	0
その他	1
合 計	2

・受任件数（令和7年3月31日現在）

類 型	高齢者（生保）	障害者(生保)	件 数
後見類型	7(2)	7(0)	14
保佐類型	1(0)	2(1)	3
後見監督	0(0)	1(1)	1
保佐監督	0(0)	1(0)	1
合 計	8(2)	11(2)	19

・終了件数

1件（終了理由：成年被後見人等の死亡）

② 市民後見人に関すること

- ・監督人として、市民後見人の後見業務における財産管理に係る確認及び身のまわりに係る相談対応を行った。
- ・市民後見人養成講座を修了した法人後見支援員の活動を支援した。

③ その他、法人後見の推進に関すること

ア 法人後見事業協議会を開催

- ・開催回数：3回
- ・場所：総合福祉センター

イ 成年後見に関する研修等に参加

- ・場所：彩の国すこやかプラザ、Zoom オンライン研修、等
- ・参加回数：9回

(23) 成年後見制度推進事業拠点区分

成年後見制度の利用促進のため、制度の周知啓発・制度利用や後見人等の相談に応じたほか、申立の支援などを行った。

① 広報、普及啓発

ア リーフレットの配布

- ・配布回数：4回
- ・配布枚数：9,222枚

イ 市民や福祉関係事業所等に向けた研修の開催

- ・出前講座開催回数：5回
- ・延べ参加者数：197人

ウ 成年後見公開講座の開催

- ・日時：12月15日(日)
- ・場所：ウェスタ川越
- ・講師：行政書士／社会人落語家 生島清身氏
- ・内容：落語で学ぼう！成年後見制度
- ・参加人数：103人

② 相談対応及び成年後見制度の利用支援

ア 社協職員が応じる制度利用に関する相談

- ・延べ相談件数：789件

イ 法律の専門家が応じる定期的な成年後見相談所の開催

- ・開催回数：23回
- ・相談件数：32件

ウ 後見人等支援

後見等を受任している後見人等に対し、専門員相談の利用などの支援を行った。

エ 受任者調整の実施

- ・職能団体への推薦依頼、個別依頼件数：5件

③ 後見制度の担い手育成

市民後見人等地域の担い手育成を目的とした研修等を実施した。

ア 成年後見入門講座の開催

- ・開催回数：2回
- ・延べ参加者数：21人

イ 成年後見応用講座の開催

- ・ 開催回数：2 回
- ・ 延べ参加者数：64 人

ウ 市民後見人養成講座修了者向けフォローアップ研修の開催

- ・ 開催回数：2 回
- ・ 延べ参加人数：12 人

エ 市民後見人養成講座修了者への福祉関係の情報提供

- ・ 提供回数：7 回
- ・ 延べ提供者数：224 人

④ 成年後見センター運営委員会の設置

成年後見センター運営委員会の設置運営にかかる庶務

- ・ 運営委員会の開催回数：3 回
- ・ 場所：総合福祉センター

⑤ 成年後見センター協議会の設置

専門職団体・市・医療・介護・福祉関係者・法律関係者が連携協力する体制づくりを目的とした協議会の設置運営にかかる庶務

- ・ 協議会の開催回数：2 回
- ・ 場所：1 回目 南公民館
2 回目 高階公民館

⑥ その他成年後見制度の利用支援に関し必要な事項

運営委員会、協議会、受任者調整、後見人等に対するチーム支援、地域連携ネットワーク構築等に向けた基盤づくり

- ・ 市、自治会、他機関、多職種等との打ち合わせなど：20 回